

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○			○	○		○		○		○	

## 企業の概要

企業・団体名	株式会社muku.	本社所在地	新潟県
業種	サービス業(他に分類されないもの)	総従業員数	5名
事業概要	広告デザイン制作およびメディアコンテンツ制作		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク規程
テレワーク担当部署	管理部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	5名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

## テレワークの導入・拡大の経緯

- 以下2つの理由からテレワークを導入。
  - ① 雪が降る地域で通常の出勤時間が車で40分のところ、2時間以上かかる場合があり、更に事故の危険性が高まることから時間の削減と社員の安全のため。
  - ② デザイナーという職業柄、地域に人材が少ない。結婚などで地域外などに行き退社することもあるため、地域関係なく働ける環境にしたかった。
- 導入時期は2018年の8月から。

## テレワークの概要・特徴

- 事務以外の社員はフルテレワークを実施。
- それに伴い、出退勤や情報管理、データのやり取り、社内チャット、電話など会社の必要な情報をすべてIT化。
- また働き方も定時ではなく、フレックスに変更。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

### 【テレワークを導入したことによる経営にもたらした効果やエピソード】

- テレワークになり、社員のストレスが軽減し作業効率が向上した。また、ICT化により情報の漏れなどもほとんどなくなった。
- 顧客に対してテレワークをしていると伝えると、どうやっているのか教えて欲しいなどと言われレクチャーすることもある。

### 【テレワークの導入にあたり、ICTの利活用、地方への移住や地方活性化等の取組や成果】

- 全てをICT化。
- 元々地方のため移住などはありませんが、地域関係なく雇用できることが大きなメリットだと感じている。

### 【その他テレワークの導入によって創出された社会的効果の事例】

- 車社会の新潟にある会社であり、移動に関しては車が主流。排ガスによる地球温暖化などには少しばかりではあると思うが、貢献していると考えられる。
- また、事務所自体も縮小出来たため、電気の使用量も減りこれも社会的効果があると考ええる。